東芝深谷 ［創刊号］
ＯＢ会会報

ＯＢ会事務局
0485（74）2014

発刊に当って

会長 島津 治郎

平成三年に東芝ＯＢ会が発足してから約六年になりました。

本日ここに東芝ＯＢ会報の発刊までに漕ぎ着けることが出来ましたのは、数おおくの先輩や、事務局、及び関係各位の絶大なるご協力の賜物と深く感謝するものであります。

その間、不肖私達に課せられた皆様方のご提案の項目については思う程の進展も見ず、誠に申し訳ない事と存じます。

しかし他の事業場のＯＢ会にない同好会の活動、家族の準会員制度や、地域住民と一体のボランティア活動などは、中核となり活動されている各役員の熱意とご好意によるもの、及び側面から支えて下さいました諸先輩並びに事務局のご支援によるものと、私も感謝しているものであります。

欲を申しまして、もう一つの縦系列の従業員とその家族に対する感謝の手を差し延べるてだてとしての企画がそれに加わる事が出来ればと私は感じております。

長い目で皆様も見守って戴きたく、どうぞ今後ともよろしくお願いします。

会報発刊を祝して

東芝深谷工場長 石井 健師

深谷ＯＢ会が発足して以来毎年定期的に諸先輩方とお会いする機会ができて、後を受け継いだ私達としても誠に心強いものであります。

第一線を既に退かれた方々にとっても、又まだ各所で御活躍の方々にとっても相互に近況を語り合い、又同好の趣味を共にする機会が拡がったと思います。

この度更にその活動を密度高くするものとして、会報が発刊されると聞き心からお祝いを申し上げます。

これが各同好会の活動を更に活発にする有力な原動力となること間違いなしですし、会員の動向を知る良い標となるでしょう。

この会報の価値が本当に高まるためには一人でも多くの人の「参加」が不可欠です。読む人がいて、投稿する人がいてそれで育っていくのだと思います。又このような企画や活動の陰には必ずといって良いほど献身的にワークして下さる人がいます。それらの方々に感謝申し上げます。

最後にこの会報を通して深谷ＯＢ会がますます活発となり、会員各位の生活に張りと潤いがもたらされることを祈念いたします。

会報発刊を祝して

深谷電子工場長 紺野 英夫

深谷ＯＢ会の皆様方の積極的な活動の成果として、この度ＯＢ会報の発刊へこぎつかれましたことに敬意を表したいと思います。

平成三年の深谷ＯＢ会の発足以来約六年を経過し皆様方のご努力により、独自の同好会活動や地域と一体となってのボランティア活動また準会員としてのご家族の参加など特徴的な活動を続けてこられましたのは、各役員と事務局の方々の熱意とご努力、そしてＯＢ会員の皆様方の積極的な参加によるものと思います。これからも次々と新たな活動を計画され、さらに有意義なものとして過ごされるよう祈念しますと共に、ＯＢ会報が提供する活動情報が有効に活用されることを期待しております。

深谷電子工場としましても先輩の皆様方の活動をサポートし、時には一緒に取り組んでいくことも必要かと考えています。これからもＯＢ会の皆様方との連携を図り、母体としての工場の更なる発展に努めていきますので、ご支援ご指導方よろしくお願い致します。

連携を深め、"東芝深谷"の発展につなげよう!

東芝労働組合深谷支部
執行委員長　安井　俊則

東芝深谷ＯＢ会の皆様におかれましては健やかな日々をお過しのこととお喜び申し上げます。

ＯＢ会も早いもので六年が経過し、会員数も三〇〇名を越え、深谷工場・深谷電子工場の歴史の重みを感ずるようになってきたことは大変嬉しいことと思います。

また、毎年七月に開催される総会での再会、会員各位の各方面でのご活躍や、折にふれての便りを拝見する度に、嬉しさと明日への意欲が湧いてまいります。今回、新たに"会報"が発刊できる運びとなったことはこの上ない喜びです。

発刊のためにご尽力いただいた関係各位に改めて感謝申し上げます。

今後も『東芝深谷』の発展のために変らぬご指導、ご鞭撻をお願いし、ご挨拶といたします。

ゴルフ同好会の活動状況

世話人　田谷・斉藤
内藤・小沢

ゴルフ同好会の会員は、現在四十九人で、人数は同好会の中では一番多くなりました。

第一回目は、平成五年一二月に東芝労使共催のコンペに、ＯＢ会として参加し、以降春・秋各一回づつ実施しております。

参加者も回を追うごとに増加し昨年一〇月県営妻沼ゴルフ場で行った第七回コンペには、六組二四人の参加となり、スコアーも八〇前半から一〇〇を越え、一打当りのコストをかなり安くした人など、和気あいあいとゴルフを楽しんでおります。

また、参加者はゴルフも楽しみですが昼食時や、終了後の懇親会に旧友との交流や、語らいを楽しみにしている人も多いようです。

今までは、同好会のハンデは決めていなかったのですが、前回のコンペの時、参加者の要望により、実績のある人は新ハンデを決めました。次回は四月に計画しておりますので多数の参加をお待ちしております。

写真同好会
活動報告と今後の予定

世話人　仙波　照男

写真同好会は春に赤城山のレンゲツツジ、秋には志賀高原の紅葉と色物を求めてシャッターを切りまくりました。

いずれも天候にも色合いにも恵まれ楽しく撮影出来たし、親睦を深める役割も果せました。

作品の仕上りは各人のレベルにみあった満足出来るものが出来た様です。

平成九年も春と秋の撮影を予定しています。また、遅ればせながら撮影会の作品を持ち寄り講評を受けたり、会員同志の作品を参考にする勉強会の開催も計画し、第一回目は、一月下旬に行いました。

写真同好会は、自然が相手の為すばらしい風景に出合ったり、自然の中で食事をしながらの世間話しや情報交換など雑念を忘れ語り合い、又、帰途には家族へその土地の果物や野菜など土産物を物色するのも楽しみの一つです。

どうぞ会員でない方のとび入り参加もお待ちしています。

小旅行同好会

世話人　大手　修作
岩佐　三男

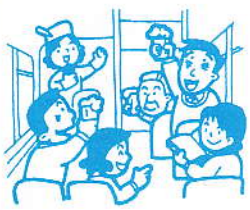
小旅行同好会は平成五年十月に発足会を開いて以来、毎年新会員の入会により現在は三九名の会員となっています。

同好会の運営のため千円の年会費を戴いており、行事として年二回の一泊旅行を計画し、実施してまいりました。

費用は、一万円より二万円以内として、一泊二日で帰宅できる範囲で計画してまいりました。

昨年度は、五月に四万温泉、十月に新潟県六日町温泉に行き帰途上信越高原国立公園・清津峡渓谷を観賞しました。

この会は東芝に永年勤務されたＯＢ会員と共に、苦労されて来た奥様にも一緒に旅行を楽しんでいただくように、平成七年度より夫婦同伴の旅行を計画しておりますので、今年も是非多くの会員が、夫婦同伴で参加されることを期待しております。



盆栽草花の会の近況

世話人 石井・紫芝

盆栽草花の会では、現在十七人の会員で、「心豊かな暮しの一助」、を目的に親睦を続けています。

行事は毎年二回新年会と見学会を実施し、意見交換を楽しく行っています。

また七月のOB会総会の場に会員の作品を展示して、来場者に大変喜ばれています。

会報を毎年一回発行して、行事案内、会員の近況、会計なども報告します。

会費は年千円です。

入会をお待ちしております。

カラオケ同好会の発足

世話人 久保田 市郎
久保田 厚

この度、OB会の会員の有志の方々の要望により、カラオケ同好会の発足を見ました。

会員は現在十七名ですが、十月以降二回の集いを持ちました。大変盛況でした。

同好会は毎月第一水曜日に行なっています。場所は東芝常盤クラブ第一ホールを利用し、各人の好きな持ち歌を二曲から三曲程度ですが月に一度旧交を暖め語らい楽しい一時を過ごして居ますので、ぜひ皆様同好会の一員になっていただける事を一同お待ちしていますので世話人まで連絡下さい。

囲碁同好会

世話人 杉浦 久雄
渡辺 和夫

囲碁同好会は現在、登録会員十六名で、月二回ときわクラブで例会を開いており、毎回六～七名の参加があります。

昨年は石打保養所で一泊の研修会を実施、六名が参加し大変好評でした。今年も計画中です。

また、深谷工場囲碁同好会とも交流会を行い、その例会には毎回二～三名参加をして、実力を高めるために努力しており、会員のレベルも回を重ねる毎に向上しております。

ときわクラブの例会はまた格好の情報交換の場であり、お互の刺激の場でもあります。

東芝の現役の人もたまには遊びに来て囲碁を楽しんで行きます。このように広い門戸を開いて活動しておりますので、囲碁の好きな方、世間話しの好きな方は、毎月第一と第四日曜日の十時から、ときわクラブに来て盛り上げて下さい。同好会員全員でお待ちしております。

釣り同好会

世話人 高木 喜一

平成八年度、釣り同好会は合計四回の行事を行った。

（一）鱒釣り、八年五月十六日
（片品川国際鱒釣場）

（二）鯉釣り、八年七月十五日
（熊谷市、金子園）

（三）鯉釣り、八年十月二十七日
（江南町、雲上園）

（四）鱒釣り、八年十一月十日
（片品川国際鱒釣場）

参加者は八名前後で常に一定。釣果も好成績で、初心者に対するベテラン釣師の好指導の賜物と感謝しています。

今後は更に上級の釣りを目指し、会員のレベルアップを計る。

平成八年十一月現在の新会員は一名（山上富次郎氏）であり、更に募集中、将来は準会員として、関連会社の人達とも交流を持ちたいので検討中です。

「撮る」「見る」「聞く」を創る楽しみに発展！
ビデオ同好会

世話人　中島　祐三郎

昨年発足した当会も現在の構成員は九名と未だ少人数ですが、その活動は着実に行われ、会員相互の親睦に大いに役立っています。

年間活動計画で大きな4ステップを定め、

(一) 各人が所有するビデオカメラを持ち寄り、その仕様や機能を確認し、尚幅広い使い方等を教え合う。

(二) 個人の撮った作品テープを披露して、その撮影技法を参考にしたり。

(三) 編集技術の習得の為、編集機器の接続方法やカット方法、ダビング技法等、作品のレベルアップ。

(四) アウトドアーでの撮影会など各人のビデオライフを一層楽しめる様活動しています。

一回の会合が約五時間、昼食を食べながらの和気あいあいでリラックスした集いは、いつも全員に好評を得ています。

今年も昨年より尚、一層発展的な企画で、みんなで楽しみたいと思っています。ぜひ多くの皆様の入会をお待ちしています。

軽ハイキング同好会

世話人　塙　安雄
　　阿部　満

現在の同好会員は、二〇名で年二回の行事を行っております。

平成七年十一月に県立自然公園両神・四阿屋（アズマヤ）山標高七七一、六Mへ十二名が参加してハイキングを楽しみました。

当日は、好天に恵まれ絶好のハイキング日和でした。途中両神村のお祭りに出合い、祭り囃子に送られながらのハイキングとなりました。

途中休息をはさみ、約二時間半で山頂に到着、ここでの展望は実にすばらしく、特に両神山の荒々しい山肌も間近に観ることができ自然の造形美を満喫することができました。

また、昨年四月には奥秩父三峰神社から雲取登山コースへは八名が参加しました。

あいにく朝から小雨が降り始めましたが、とにかく登口まで行ったところでの判断となりました。

車二台に分乗して、二時間ほどで三峰神社専用駐車場に着いた頃は季節はずれの大雪となっていました。

登山道は足元が悪く危険であるとのリーダーの判断で中止することにして、三峰神社へ参拝し復路大滝温泉で入浴し昼食をとりながら懇親を深めた後、秩父路の古寺巡りをしつつ帰路についた。

今年度も春・秋と二回のハイキングを計画しておりますので是非多数の会員が奥様とご同伴で参加されることを期待しております。

「地域のボランティア活動への参加」

東芝深谷ＯＢ会事務局

総会に於て、会員の確認を受けた、ボランティア活動も、正式に、「緑豊かなきれいな街づくりＧＣＣ」への入会をし、少しづつではあるが、会員有志の参加を得て、動き始めたところです。事務局も「東芝深谷ＯＢ会」と命名し、次のような活動を行って来ました。

一、唐沢堤周辺の環境美化活動への参加。

一、駅通りの花の植え替え。

一、切手、テレフォンカード等の収集をして、市社会福祉センターへの納付。

今後も地域へのボランティア活動の協力を会員皆様方へ依頼致します。沢山の方々の参加をお待ちしています。

編集後記

会員の皆様方よりかねてから要望されていた、ＯＢ会会報をこの度、発刊することが出来ました。日一日と暖かさも増して来ることでしょう。

活発なる同好会活動を願うと共に、時折皆様方よりの便りもいただけると助かります。

ＯＢ会幹事
編集委員一同